



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



寄附金控除について

辻田 重恵 会員

一．個人の場合（所得税法78条）

特定寄附金をしたときは、下記の金額を所得から差引く。

特定寄附金の額	} いずれか少ない金額 - 5,000円 = 寄附金控除額
総所得金額の40%	

1．特定寄附金とは

- 国または地方公共団体
- 指定寄附金（財務大臣が指定したもの）
- 公益の増進に著しく寄与する法人に対する寄附金
（cf. 赤十字，社会福祉法人等）
- 政治活動に関する寄付
- 特定地域雇用等促進法人に対する寄附金
- 認定特定非営利活動法人（NPO法人）のうち国税庁長官の認定を受けたもの
- 特定公益信託への支出金



2．手続き

確定申告書に上記の証明書を必ず添付すること

二．法人の場合

- 1．国または地方公共団体
- 2．指定寄附金（公益法人に対する寄附金で財務大臣が指定したもの）
全額損金
- 3．特定公益増進法人及び認定特定非営利法人に対する寄附

その支出額と4．の一般の寄附金の損金参入限度額とのいずれか低い金額が別枠で損金

- 4．その他一般の寄附金（所得の金額×2.5/100 + 資本金等×2.5/1000）×1/2

三．実質課税の原則について

- 1．本当に寄附なのか？
- 2．ロータリーの会費について
- 3．経費の考え方について



President

会長の時間

10月は、米山月間となっております。その関係で、本日は米山奨学委員会担当のプログラムが組まれております。そこで、米山奨学事業の位置づけについて整理して見たいと思います。

日本のロータリーが力を入れている国際奨学事業には3つの事業があります。すなわち、R財団による奨学金、青少年の国際的な学生交換、それに米山奨学金です。

第1のR財団による国際親善奨学金は、外国へ留学する日本人に対してR財団がその費用を負担するもので、特に大きな特色として、財団への寄付者は、財団プログラムの受益者にはなれないということです。従って、ロータリアン及びその扶養家族・親族は、対象となりません。

第2の国際青少年交換は、その経費を受け入れ地区又はクラブが負担するもので、ロータリアンの子女のほか、必要な資格要件を備えた15才から19才の人なら誰でも参加出来ます。

第3が、米山奨学金です。これは日本に留学する外国人を対象とする点で、前の2つの奨学金とは異なった日本のロータリー独自の奨学制度です。

米山奨学金の使命は、金銭的援助だけではありません。留学生のほとんどは、言語も風俗も慣習も異なる異国で、生活苦と闘いながら、孤独な思いをして勉学を続けております。多くの留学生が、日本人の中に心の友を求め、日本人の生活や家庭をもっと知りたがっております。この意味において、世話クラブのロータリアンがカウンセラーとなり、ロータリーを通じてよりよく日本を理解してもらおうとする米山奨学事業は、留学生にとって誠に貴重が制度となっています。また、留学生は、一方的に日本で学ぶだけでなく、文化交流の担い手として、私達日本人自身が外国を理解し、外国人の民族性や生の対日感情を理解するチャンスを提供する得難い使節であります。

現在、当クラブでは、志方会員にカウンセラーを勤めて頂き、米山奨学生の王彩麗さんの世話クラブを引き受けております。私達自身、彼女を通じて生の中国を理解する良い機会と考えます。進んで交流を図って行きたいものと思います。

Neighbor-club
information

近隣クラブINFORMATION

クラブ名	変更内容	日時・場所
高砂ロータリークラブ	休会(定款第6条1節cによる)	10/10(金)
加古川平成ロータリークラブ	職場例会	10/15(水) 於:播磨社会復帰促進センター
加古川中央ロータリークラブ	親睦家族旅行	10/16(木) 10/11(土)~10/13(祝) 濟州島方面
姫路ロータリークラブ	職場例会	10/21(火) 於:ハーベスト医療福祉専門学校
姫路中央ロータリークラブ	職場例会	10/23(木) 10/25(土) 於:大飯原子力発電所



Secretary 幹事報告

第12回 通算1376回

1. 2680地区より2011-12年度ガバナーノミネー指名案提出のお願いが届いております。
2. 会員増強委員長へ会員増強ツールが届いています。



Donation ニコニコ報告

鹿間 行雄

本日、米山奨学委員会担当のプログラムで「寄附金控除について」お話を聞くことになっております。辻田会員よりよろしくお願い致します。

岡本 崇司

辻田会員、卓話ご苦労様です。

竹原 俊三

辻田先生、本日の卓話、楽しみにしています。

辻田 重恵

本日、卓話をさせていただきます。よろしくお願い致します。

小西 文孝

元会員の花栄壮佳さんから、「立派な30周年の記念誌を頂きました。ありがとうございます

た。」との事でにこにこを預かりました。皆様によりしくお伝えして下さいとの事でした。

増田耕太郎

10月ですネ。秋祭りが近づいてきました。

志方 正昭

鹿間（虹美）さん、増田さん、先日は御世話になりました。王彩麗さん、ようこそ！

中谷 利幸・増田耕太郎・廣瀬 明正
庄司 武・小西 文孝・中右 和宏
田水 敬雄

結婚記念日の花贈呈有難うございました。

植杉成一郎・栗原 康高・大橋 卓司
鹿間 虹美

誕生日お祝い有難うございました。

柿木 国夫

花を飾りましょう。

西田 光衛・井野 隆弘

早退します。

誕生祝

植杉成一郎 会員
鹿間 虹美 会員
栗原 康高 会員
垣迫 雅一 会員
大橋 卓司 会員



結婚祝

伊藤 勝之 会員
中右 和宏 会員
増田耕太郎 会員
田水 敬雄 会員
中谷 利幸 会員
砂川 仁史 会員
廣瀬 明正 会員
菱田 克己 会員
庄司 武 会員
小西 文孝 会員
吉田 一富 会員
竹原 俊三 会員



理事・役員会議事録

高砂青松ロータリークラブ

通 算	第 3 7 4 回
2008 ~ 2009	第 4 回
日	平成 20 年 10 月 1 日
場 所	高砂商工会議所

出席者

出席者				臨時出席者	
鹿 間 行		増 田		中 右	プログラム
菱 田		森 脇	×	竹 原	副幹事
岡 本		矢 野			
小 林		鹿 間 虹			
廣 瀬	×	原 田			

報告事項： 出席報告 (菱田 克己) (右記参照)
 会費納入状況 (小林 久夫) 9 月末 88.46%

議案事項：

- 10 月, 11 月のプログラムの件 (右記参照)
- 新世代会議の件 (12 月 14 日 (水) 例会分)
 12 月 23 日 (火・祝) 高砂市青年の家 13 時 30 分から承認
 ・高砂市内高校四校から 1 名ずつ + 米山奨学生 王彩麗氏がテーブルスピーチ
承認
 ・今年は, ホストは高砂青松ロータリークラブ
- 柿木國夫会員出席免除の件
 定款第 9 条第 3 節 (a) により承認
- その他
 クラブホームページの件 菱田副会長より説明
 本年度費用はクラブ奉仕委員会の予算から充当。来年度費用の予算取り要領等は次回以降の理事会に提案することになった。
 国際交流会 応援の件 国際奉仕委員会主体で社会奉仕委員会協力承認
 11 月 16 日 (日曜) 10 時 ~ 14 時の予定
 赤い羽根共同募金『バッジ募金』協力の件承認
 500 円 × 会員数で協力
 30 周年記念事業決算報告書承認
 加古川平成 R.C. チャリティーコンサートの件
 チケット購入の協力することで承認
 鹿島中学校がマーチング全国大会に出場することに伴うお祝金... 1 万円承認
 社会奉仕委員会予算から支出

出席報告

8月度 本クラブ出席率 76.39% メークアップ率 8.33% 修正出席率 84.72%
 9月度 本クラブ出席率 76.92% メークアップ率 % 修正出席率 % (途中経過)

	8/6	8/20	8/27	9/6	9/10	9/19	9/24	
会 員 数	52	52	52	52	52	52	52	
出 席 数	39	39	32	22	35	30	34	
メークアップ	1	3	8					
欠 席 数	8	7	7					
出席免除	9	9	9	9	9	9	9	

10, 11月のプログラム

10 月		11 月	
1	卓話 辻田会員 「寄付行為に伴う税額控除について」 【米山奨学委員会担当】	5	卓話 大橋卓司会員
8	クラブアッセンブリー 藤本定男ガバナー補佐来訪	12	卓話 志方正昭会員
15	休会(定款第6条第1節(c)による)	19	卓話 鹿間虹美会員 【ロータリー財団委員会担当】
22	卓話 松尾 毅会員 「介護事業における日本とタイの 事情について」 【職業奉仕委員会担当】	26	卓話 田中申明会員
29	ガバナー公式訪問 宮本 一ガバナー来訪		

プログラム予定

10月8日(水)	10月15日(水)	10月22日(水)	10月29日(水)
クラブアッセンブリー 藤本定男ガバナー補佐 来訪	休 会 (定款第6条第1節(c) による)	卓話 松尾会員 「介護事業における日本 とタイの事情について」 【職業奉仕委員会担当】	ガバナー公式訪問 宮本 一ガバナー 来訪

例会記録 2008. 10. 1 (水) 通算1452回

ソング	「君が代」「奉仕の理想」「歓迎歌」		
四つのテスト	親睦委員会委員長 澤田 孝彦		
本日のゲスト	王 彩麗さん		
来訪ロータリ アン報告	籠谷 啓一様(高砂R.C.)	脇谷 政隆様(高砂R.C.)	
出席報告	9月24日 会員数 52名 欠席者 8名 出席率 84.62% <修正による> (この内出席免除者9名)		
	10月1日 会員数 52名 欠席者 7名 出席率 86.54% (この内出席免除者9名)		

播磨ゆかりの偉人伝 ⑫

性空(しょうくう) 書写山円教寺を創建

生涯忘れられない辛い思い出があった。性空がまだ仲太と呼ばれていた少年のころである。藤原時平の孫時朝の家で子息に学問を教えていた時、うっかりその家の宝物である硯を割ってしまった。

さあ大変。うろたえる仲太にその家の子は「私が割ったといえば、父は怒らないはずです」と自らのミスであると父親に伝えた。ところが、その父親はその場でわが子の首をはねてしまったのである。

大きなショックをうけたのはいうまでもない。性空はその子の菩提を弔おうと出家を目指した、といわれている。

平安時代中期の延喜10(910)年、従四位下・橘善根の二男として京都に生まれた。母は源氏の流れをくむ保津姫。出家が遅れたのは両親の反対にあったからだ。志が実現したのはすでに36歳になっていた。

性空はまず比叡山に上り天台教観を学んだあと、僧としての栄達よりも、大衆教化に生きる聖(ひじり)の道を選び、修験の山として知られる九州の霧島山、背振山に20年あまり籠って修行を続けた。

新たな修行の地を求めて姫路の書写山に入山したのは康保3(966)年、57歳の時だった。性空の名声はやがて京都にも届くようになり、花山法皇から「円教寺」の称号を授かった。

その人柄と徳を慕って、説教を聴くために書写山に登ったひとは数知れないといわれる。結縁を求めて、平清盛、和泉式部らが訪れるなど、武家や貴族から強い信仰を受けた。寛弘4(1007)年、98歳の生涯を終えた。

(主な参考文献=寺林峻・著「播磨百人伝」神戸新聞総合出版センター)



会長 鹿間行雄 幹事 岡本崇司 クラブ会報委員長 菊地敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)